

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

サーベイランスサポートチームの組織化に向けた戦略的取り組みと成果

1．研究の対象および研究対象期間

研究対象期間：2022 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日迄

研究の対象：上記期間に昭和大学横浜市北部病院に入院し、脊椎固定術（整形外科）、心臓手術あるいは冠動脈バイパス手術を受けられた患者さん

2．研究目的・方法

研究の背景：

サーベイランスとは、感染症の発生を調査・集計し、感染症の蔓延と予防に役立てるシステムのことで、医療機関では手術部位感染などの発生状況について、サーベイランスを用いて監視しています。サーベイランスは主に病院の感染制御チームが担っていることが多いですが、この結果は、実際に患者さんの治療やケアを行う現場の医療スタッフと共有し、改善のための計画・実施・評価・見直しを行うことが重要になります。しかしその一方で、多くの医療機関では、感染症の予防に向けた問題解決などを職種間あるいは部門を超えて連携して改善のための活動を行うことや、現場医療スタッフと共に原因分析を行うことが不十分であると言われています。そこで、このサーベイランスを効率的に、且つ有効な方法で実践するために、治療やケアを担う医療従事者と感染制御チームのスタッフが連携したサーベイランスサポートチームを立ち上げ、戦略的な取り組みを 2022 年から開始しました。このようなチームが病院内に設置されている医療機関は他に例がなく、病院機能評価においてはチーム活動が非常に高く評価され、他医療機関からも具体的な活動方法や成果が注目されています。

目的：

本研究では、2022 年から 2023 年にかけて当院で戦略的に活動したサーベイランスサポートチームの具体的な活動内容と手術部位感染を減らすための対策について報告します。その上で、整形外科・循環器外科の対象手術患者における手術部位感染の発生件数の推移を見ながら、有効且つ効率的なチーム活動について、多職種と部門を超えた連携の成果について検証します。

研究の方法：

2022 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日迄に、昭和大学横浜市北部病院に入院し、脊椎固定術・心臓手術・胸部とグラフト採取部位の切開を伴う冠動脈バイパス手術のいずれかの手術を受けた患者さんの手術部位感染の発生件数の推移と、2022 年・2023 年のサーベイランスサポートチームの活動および手術部位感染予防の対策に関する成果を検証します。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 9 月 30 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、既往歴、基礎疾患、入院日、手術日、手術時間、手術方法、退院日、在棟期間、入院期間、入院病棟、転帰、治療内容）、手術部位感染の有無、手術創部（手術のためにできた皮膚切開の傷）から採取した細菌培養検査結果

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 看護部 福岡 絵美

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 看護部

氏名：福岡絵美

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1

電話番号： 045-949-7574（直通）